

神奈川新聞 カナロコ 慶応が桐蔭学園下し、2回戦進出

2021年7月12日 高校野球の第103回全国選手権神奈川大会は12日、サーティーフォー保土ヶ谷球場で1回戦の桐蔭学園-慶応が行われ、慶応が5-4で桐蔭を下して2回戦に駒を進めた。



甲子園出場経験のある強豪校同士の好カードは、慶応が2-2の七回に真田壮之（3年）の2点二塁打で勝ち越しに成功。八回にも1点を加えた。投げては荒井駿也（3年）と前田晃宏（3年）の継投で逃げ切った。慶応は14日、横須賀スタジアムで第3シードの光明相模原と戦う。

神奈川新聞社 © Kanagawa Shimbun.

日刊スポーツ 慶応が桐蔭学園との強豪対決制し2回戦へ

<高校野球神奈川大会：慶応5-4 桐蔭学園>◇12日◇1回戦◇ 2021年7月12日13時6分
サーティーフォー保土ヶ谷球場 ともにノーシードの慶応と桐蔭学園が1回戦で激突。慶応が5-4で競り勝ち2回戦進出を決めた。広島で活躍した前田智徳氏（50）の次男・晃宏投手（3年）がリリーフで登板し勝利投手になった。慶応は14日2回戦でシード校の光明学園相模原と対戦する。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
慶応	0	0	0	0	1	0	3	1	0	5
桐蔭	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4



7回無死、左越え本塁打を放ち次打者・前田とハイタッチを交わす二宮(左)
4回裏救援する慶応エース・前田

慶応が桐蔭学園との強豪対決を1点差で制し初戦を突破した。広島で活躍した前田智徳氏(50)の次男でエースの晃宏投手(3年)が、父が見守る中、リリースで登板し勝利投手となった。

前田は1-2と逆転された5回途中から登板。キレの良い変化球で桐蔭学園打線の勢いを止めた。すると7回表、二宮慎太郎外野手(3年)のソロ本塁打で同点。さらに前田自らの安打などで2点を勝ち越した。

慶応は8回表に1点を加え5-2。その裏2点を返され1点差となったが逃げ切った。前田は8回で降板した。



スタンドから次男・晃宏投手を見守る前田智徳さん

5回、先制のホームを踏む慶応・小堀と盛り上がるナイン



先発する慶応・荒井

(いずれも撮影・勝部晃多)

先発する桐蔭学園・山口凱

【5回表】(桐蔭学園投手・山口)7番小堀 2-2から右越え二塁打
8番金岡 1-2から犠打。投手と三塁の間に転がり、投手山口が捕れず、すぐに処理した三塁手が一塁に送球。一塁ベースカバーの二塁手が捕球ミス。ボールは一塁ファウルグラウンドへ。その間に二塁走者の小堀が生還し1点を先制。なお無死一塁

【5回裏】(慶応投手・荒井→前田晃宏)9番山口 右前打。無死一塁
1番慶野 3-1から一塁前へのバントヒットが決まり無死一、二塁 2番田中 初球を犠打。1死二、三塁 3番木本 四球。1死満塁 4番松下 1-2から浅い右飛。タッチアップできずに2死満塁 5番相沢 0-2から左翼フェンス直撃の二塁打で2者がかえり逆転。2死二、三塁

【7回表】(桐蔭学園投手・山口→増本)6番二宮 左翼ポール際へ同点ソロ 7番前田 左前打。無死一塁 8番金岡 バント(犠打つかず)するも処理した一塁手が二塁へ悪送球。無死一、二塁 9番荒井 犠打。1死二、三塁 1番真田 中越え二塁打で2者がかえり4-2

【8回裏】(慶応投手・前田)6番進藤 右前打(代走牧野) 7番小林 右中間二塁打で一塁走者が生還して3点目。無死二塁 8番勝間田 右飛。1死二塁 9番代打竹内 空振り三振。2死二塁 1番慶野 中前の浅いフライを横地が飛び込むも捕れずに二塁打となり4点目。2死二塁 2番田中 右前打。二塁走者がホームを狙うも、右翼手からの返球でタッチアウト

【9回裏】(慶応投手・前田→荒井)3番木本 右中間への三塁打 4番松下 右飛。タッチアップせず 5番相沢 三塁線への当たりで今泉が好捕。三塁走者帰塁するもタッチアウト。2死一塁 6番代打木原 中飛

